

2018年度岩木健康増進プロジェクト健診に ご参加いただいた皆様へ

下記の研究に用いるため、皆様の情報を利用させていただきますので、お知らせいたします。

研究課題名： 脳由来神経栄養因子(BDNF)とうつ状態との関連に関する研究

研究の目的

脳由来神経栄養因子(brain-derived neurotrophic factor、以下 BDNF)は、神経栄養因子の一種で、神経細胞の分化促進、神経系の成長・修復を制御するタンパク質です。BDNFは性ホルモンとは異なる作用で脳神経系に作用することが考えられます。また、手の巧緻性(ペグボード)筋力も、うつとの関係性が報告されており、BDNFと関係する可能性があります。そこで、血中 BDNFとうつ傾向及び巧緻性との関連を、性差・閉経前後の代謝の変動に注意して調べます。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2028年 3月 31日

対象となる方： 2018年の岩木健康増進プロジェクト健診に参加された方

利用させていただきたい試料・情報について

以下の情報を研究責任者である井原 一成の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発(承認番号:2018-012)」において2018年に取得された以下のデータ

- ☐ 個人記録票(Project ID、基本属性、血圧、ウエスト/ヒップ比、握力、脚伸展筋力、腹筋、体幹筋、ペグボード等)
- ☐ 健康調査票(基礎疾患データ、既往歴、内服薬情報、喫煙状況、運動習慣、日常生活動作(SF36)、ストレス(CES-D)、飲酒状況、睡眠状況、学歴、労働状況、家族構成)
- ☐ 血液・尿項目(BDNF、アルブミン、グロブリン、ヘマトクリット、総蛋白、ヘモグロビン脂質代謝関連項目(中性脂肪、TCH、LDL-C、HDL-C、アポ蛋白A-1・B・E))
- ☐ 糖代謝関連項目(血糖、HbA1c、グリコアルブミン、インスリン、Cペプチド)
- ☐ 肝機能関連項目(AST、ALT、γGTP、総ビリルビン)
- ☐ 腎機能関連項目(クレアチニン、尿素窒素、尿酸)
- ☐ 内分泌代謝関連項目(コルチゾール、アルドステロン、テストステロン)
- ☐ 産婦人科関連項目(エストラジオール、ビタミンD(25OH ビタミンD)、閉経年齢、FSH(卵胞刺激ホルモン)、抗ミュラー管ホルモン、ホモシステイン、月経状況)
- ☐ 食事調査(BDHQ:簡易型自記式食事歴法質問票)
- ☐ 身体組成(BMI、筋肉量、脂肪量、内臓脂肪量)
- ☐ 物理化学的測定(超音波骨密度、四肢血圧、視力)
- ☐ ジャポニカアレイ(SNP)

具体的には、BDNF 及びうつ状態の潜在的な交絡要因を調整するとともに、BDNF 遺伝子多型との関連も考慮した分析を行う。統計手法に関して、BDNF を説明変数として、興味のある手先の器用さ指標（ペグボードテスト結果）、うつ状態のアンケート（CES-D）等との関連性解析を行う。主に一般化線形モデルを解析手段とする。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2018-012）」で収集し、加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「情報利用提供停止願い」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない方／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科社会医学講座 事務・八木橋 孝伎 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話 0172-39-5041 Email koki1217@hirosaki-u.ac.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス 研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205